

鏡川流域パートナーシップだより No.273 R8.3.26



鏡川流域
パートナーシップ
KAGAMIKAWA LOCAL AREA PARTNERSHIP

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「著者来たる！第10回「川から始める地方再生」サミット@高知・鏡川」を開催しました

3月25日(水)に、【著者来たる！第10回「川から始める地方再生」サミット@高知・鏡川】と題し、「川から始める地方再生」の著者・水谷要さん(東京都在住)の主催で、鏡川流域関係人口が集うイベントを開催しました！

現地会場の「はりまやアンサンプル」には、日頃から交流を深めている関係人口の皆さんが8名集まりました！また、現地会場での対談の様子をZoomで中継し、オンライン参加者も合わせた総勢11名で対談しました。

今回のトークテーマは、高知市朝倉(鏡川下流域)の水路が紡いできた歴史と可能性について。鏡川水系の水が流れる朝倉にお住まいの福井美和さん(高知大学希望創発センター)を中心に、話題を展開しました。



水谷さんが代表を務める「特定非営利法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト」は、リバーブランディング(川を起点に地域の稼ぐ力と地域プロモーションを創造すること)を通じて、地方再生の取組を進めています。水谷さんの取組の記録や検討などを、著書「川から始める地方再生」に記しています。



「ぼっちり」を通じてコメントが多数届きました！



第10回「川から始める地方再生」サミット@高知・鏡川に参加or応援

+300 もらう

オンライン投稿

リバーブランディング

- 「朝倉」を調べると、大学生やファミリー層に人気で、田園風景もあり住みやすい地域とのこと。水路がこの地域にどう影響しているのか気になります。
- 自分の生活圏にある朝倉の水路はいつも目にしていました。水はきれいだし、水車もあります。



令和7年10月に、朝倉にて、地域の世話役や農家さんへの取材イベントを企画した福井さん。地域の方々と一緒に、水路などを確認しながらまち歩きを行いました。取材の様子は関係案内ブック「どぶれるC！」をぜひご覧ください！



取材イベントの写真を画面に映しながら、朝倉を流れる前田川や水路の様子を確認しました！「コンクリートでできた水路があれば、昔ながらの石垣が残っている水路もあった」「水路にシジミがいるらしい」「去年、前田川でホタルを見つけて感動した！」など、発見を共有しました。水谷さんいわく、朝倉の環境要件や鏡川の水質を踏まえ、シジミの中でも特に希少なマシジミが朝倉に生息している可能性もあるとのこと！「今度みんなで朝倉に行きたい！」「マシジミを見つけるツアーをやってみたい！」という声もあり、次の展開につながりそうです！



高知大学大学院に通う中川幹さん(総合人間自然科学研究科理工学専攻 博士課程1年)は、生きものへの関心が深く、「高知大学に入学したときから大学の近くの水路に入って貝やナマズを捕まえていました」とのこと！「高知の川がきれすぎてびっくりした」「宗安寺でホタルも見つけました」と、話題は尽きません！

オンラインで参加した「だつぶる」さん(神奈川県在住)から、「自分では気づかないことでも、一緒にいる誰かが気づくことで学びを共有できる」とコメントがありました。それぞれの発見や関心を持ち寄り、鏡川流域の環境を考える機会を今後も作っていきたいです！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android